



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	17,888.28	-42.39	-0.24	-1.50	2.66	17,425.03
NASDAQ	5,046.37	-12.04	-0.24	-2.77	0.78	5,007.41
日経225	16,905.36	-229.32	-1.34	-2.49	-11.18	19,033.71
上海総合	3,125.32	-3.62	-0.12	0.68	-11.69	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,354.18	-10.91	-0.32	0.42	-10.10	3,731.01
ハンセン	22,642.62	-40.89	-0.18	-1.36	3.32	21,914.40
H株	9,491.51	9.50	0.10	-0.25	-1.75	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.4%安と続落、本土市場は0.7%高と4週続伸

香港市場ではハンセン指数が1週間で1.4%安と続落した。予想から大幅に上振れした10月の中国製造業PMIが発表された1日以外は軟調な値動き。中国景気の先行きに対する警戒感の後退したもの、米大統領選をめぐる不透明感の高まりや12月の米利上げ観測の高まりでリスク回避の売りが優勢となった。上海総合指数は1週間で0.7%高と4週続伸した。1日ごとに上昇と下落を繰り返す動きが続いたが、景況感の改善で下値不安が後退。週を通じて終値で節目の3100ポイントを維持し、しっかりの開拓となった。

今週の展望:香港市場は米大統領選の結果次第の展開に、9日昼ごろに大勢判明

香港市場は8日に予定されている米大統領選の結果次第の展開となりそうだ。市場ではトランプ氏の勝利を警戒してリスク回避の売りが広がっており、大勢が判明する9日昼ごろまでは手控えムードが広がる公算が大きい。仮にトランプ氏が勝利した場合には6月の英EU離脱決定の時以上の混乱が見込まれるが、クリントン氏が勝利した場合には買い戻しが入りそうだ。一方、本土市場も米大統領選の結果次第か。8-9日に貿易統計や物価統計の発表が予定されているが、大統領選を控えるなか値動きは限定的となりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 長江実業地産 (01113)	57.90	3.95
2 長江インフラ (01038)	65.55	3.39
3 中国神華能源 (01088)	16.72	2.96
4 キャセイ・パシフィック (00293)	10.30	2.39
5 新世界発展 (00017)	9.75	1.77
6 ハンセン銀行 (00011)	141.20	1.58
7 交通銀行 (03328)	5.89	1.38
8 電能実業 (00006)	73.65	1.17
9 華潤電力控股 (00836)	13.12	1.08
10 ホンコン・ファイナガス (00003)	15.10	0.67

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 AIAグループ (01299)	47.80	-7.00
2 瑞声科技 (02018)	70.05	-5.34
3 信和置業 (00083)	12.66	-4.09
4 テンセント (00700)	200.00	-3.85
5 百麗国際 (01880)	4.50	-3.23
6 レホグループ (00992)	4.86	-3.19
7 CNOOC (00883)	9.75	-2.89
8 中国蒙牛乳業 (02319)	14.68	-2.78
9 リー&ワン (00494)	3.77	-2.58
10 恒隆地産 (00101)	16.72	-2.22

▼今週の主なイベント

- 11月8日(火)
- 【中国】貿易統計(10月)
- 【米国】大統領選投票日
- 11月9日(水)
- 【中国】CPI, PPI(10月)

▼今週の期待材料

- ◆1日発表の中国の製造業PMIは51.2、市場予想を大きく上回り景気減速懸念が後退
- ◆深セン・香港ストックコネク、接続テストを終了して間もなく実際の開始日を発表の見通し
- ◆クリントン氏の私用メール問題、米連邦捜査局が訴追を求めない方針を表明

▼今週の懸念材料

- ◆米大統領選の大勢が9日昼ごろにも判明、仮にトランプ氏勝利なら英EU離脱決定の時以上の混乱も
- ◆香港政府が不動産引き締め策を発表、過熱抑制を目的に3年ぶりに印紙税率を引き上げ
- ◆FRBのフィッシャー副議長が「利上げの条件がさらに整ってきた」と発言、12月の米利上げ観測高まる

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 長江和記実業 (00001) : ロシアとイタリアの通信事業、統合の手続きが完了
- ☆ 中国金茂 (00817) : 10月の不動産販売額が2.6倍に拡大、販売面積は56%増
- ☆ チャイナ・コスコ (01919) : 重慶中遠化工物流の全株式を7800万円で親会社に売却
- ☆ 広州汽車集団 (02238) : 10月の新車販売台数は35%増と好調、1-10月は33%増加
- ☆ 中国恒大集団 (03333) : 10月の不動産販売額は40%増と好調、販売面積は24%増加
- ◇ 重慶機電 (02722) : イタリアの水力発電所建設業者の株式49%を取得
- ◇ 中国国際金融 (03908) : 中国中投証券の買収計画を発表、167億円で株式100%取得
- ★ 新鴻基地産 (00016) : 香港政府が印紙税率を5日付で引き上げ、不動産販売に逆風
- ★ 中信証券 (06030) : 10月の営業収益は37%減、純利益は43%減と苦戦続く
- ★ 海通証券 (06837) : 10月の営業収益は54%減、純利益は58%減と業績悪化

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。